

神の国の奥義(2)

=神の国に入る条件=

1. すべての時代 (kainos) と領域は神の主権により定められた (使徒 17 : 26)
2. 3つの時制に注意 :
 - ① 神の国の実質はキリストと共に到来した (has come ; マルコ 1 : 15)
※神の国とは全被造物の上に対する神の主権の行使と神のご計画の成就を言う (NetBible)
 - ② 神の国は私たちの中に確立しつつある (is coming ; マルコ 4 : 26-27)
 - ③ 神の国は目に見える形で現れる (will come ; 1 コリント 15 : 24)
3. 神の国に入る条件
 - ① 私たちの構成 : 霊 (spirit)、魂 (soul)、体 (body) (創世記 2 : 7,8)
 - ② 私たちの状態 : アダムの子により肉となり神の霊はとどまらず (創世記 6 : 3)、罪と罪過の中で霊が死んでおり (エペソ 2 : 1)、世の霊力の元にいる (同 2 節) → 肉 (flesh) による生き方 = 自己の魂と体による自力のサバイバル
 - ③ 悔い改める (=向きを変えること i.e.自己からキリストへ) (マルコ 1 : 15)
 - ④ 御名を呼ぶ (ローマ 10 : 13)
 - ⑤ 霊から生まれる (ヨハネ 3 : 3,5) → 信仰による ; 聖霊の内住を受けるとき、キリストが私の霊に住まわれる (ヨハネ 16 : 13,14 ; ローマ 8 : 10 ; 2 コリント 13 : 5)
 - ⑥ キリストとの結合 = ひとつの霊となること (1 コリント 6 : 17)
 - ⑦ 神のタネがまかれ (いのちを得る)、キリストの頭首権に服する → 服すれば服するほど平安と安息が満ちる

【暗証聖句】

使徒17:26-28 神は、ひとりの人からすべての国の人々を造り出して、地の全面に住ませ、それぞれに決められた時代と、その住まいの境界とをお定めになりました。これは、神を求めさせるためであって、もし探り求めることでもあるなら、神を見いだすこともあるのです。確かに、神は、私たちひとりひとりから遠く離れてはおられません。私たちは、神の中に生き、動き、また存在しているのです。

エペソ2:1-2 あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって、そのころは、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている霊に従って、歩んでいました。

ヨハネ3:5-6はっきり言うておく。だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない。肉から生まれたものは肉である。霊から生まれたものは霊である。

KFC-MESSAGE 2007.01.28